

## 残土処分地一覧表注意事項

残土処分地の単価採用に当たっては、下記の事項に留意して使用願います。

### 記

#### 1. 残土処分の考え方

建設副産物対策と建設工事公衆災害防止対策要綱のⅠ. 建設副産物実施要領に基づき、残土処分の方法を選定する。

#### 2. 残土処分地の受入価格について

・残土処分地一覧表に掲載されている処分地は、当室で把握している処分地でその他の処分地を使用することも、可とします。

・残土処分地毎の価格を設定しているため、発生場所から処分地までの運搬距離に係る費用と処分費を合わせて比較検討して採用すること。

・設計図書には、処分地及び処分地までの距離を明示すること。

・処分地の変更については、当初設計に明示した処分地が受入れ不可能や、新たに受け入れ（流用）先が確保できた場合、適正に変更すること。

・ダンプトラックの積載土量（地山土量）換算値（q）は、次表による。

	10 t 車	4 t 車	2 t 車	地山の単位体積重量
土 砂	5.5 m <sup>3</sup>	2.2 m <sup>3</sup>	1.1 m <sup>3</sup>	1.8 t / m <sup>3</sup>
軟 岩	4.5 m <sup>3</sup>	1.8 m <sup>3</sup>	0.9 m <sup>3</sup>	2.2 t / m <sup>3</sup>
硬 岩	4.0 m <sup>3</sup>	1.6 m <sup>3</sup>	0.8 m <sup>3</sup>	2.5 t / m <sup>3</sup>

